

Stage5

In a Spin

くるくるまわって

作・アンドレア・スミス

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・このお話にはだれが出てくるでしょう。このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがあるかな。
- ・お話にでてくるひとたちについて、どんなことを知ってるかな。
- ・この本の表紙で、アントは何をしているのかな。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

leaf 葉

leaves leaf(葉)の複数形

pointed 指さした

suddenly 突然

higher より高く

adventure 冒険

[p. 1]

くるくるまわって

作・アンドレア・スミス

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと

アント

マックス

鳥

[p. 3]

木

葉

種

[p. 4]

マックスとアントは公園にいました。
風の強い日でした。木の葉があたり一面に飛び散りました。

[p. 5]

マックスがなにかを指さしました。それはおもしろい形をしていました。それはくるくるくるくと回りました。「これなんだろう?」、マックスがたずねました。

[p. 6]

「もっと近よって見てみよう」、アントが言いました。
ふたりは時計のボタンを押しました。

[p. 7]

それははねのような形をしていました。
アントはそれをひろいあげました。
「これは種だと思うな」、アントが言いました。

[p. 8]

突然、鳥がまい降りてきました。
鳥はくちばしでアントをつまみ上げました。

[p. 9]

「アント!」
鳥はどんどん高く飛んでいきました。鳥はアントをしっかりとつかんでいました。アントは種をしっかりとつかんでいました。
「アント! 戻っておいで!」、マックスがさげびました。

[p. 10]

鳥はますます高く飛びました。
アントは見下ろしました。マックスは、はるか離れたところにいました。

[p. 11]

「おい、鳥! ぼくはミミズじゃないぞ」、アントはさげびました。
「放せ!」
「おい!」

[p. 12]

アントは腕を振りまわし、足をけりました。
鳥はアントを放しました。そしてトリは飛び去っていきました。
「うわっ!」

[p. 13]

アントはどんどん下に落ち始めました。

「大変だ!」、マックスがさげびました。

[p. 14]

種がくるくるとまわりはじめました。種はアントをゆるやかに回転させました。

「おお、いいぞ!」アントは笑いました。

[p. 15]

アントは回転しながら下におりてきました。

アントは着地しました。

「きみは空飛ぶアリだね!」、マックスが笑いました。

[p. 16]

この冒険のあと、マックスはある考えがもつようになりました。

それはどんなことだと思いますか?

マックスの考えてることのすべてを知ろう……

『飛ばしもの作り』

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう:

- ・なぜ鳥はアントをくちばしでつまみ上げたんだと思う。
- ・鳥がアントを落としたときにどんなことが起こったかな。
- ・これまでにオオカエデの種を見たことがある?
- ・この本を読んで初めて知ったのはどんなこと?

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

近所の公園や森などへ自然観察に行ってみましょう。違うかたちの葉っぱを何枚、見つけれられるでしょうか。オオカエデの種を見つけられますか。